

不和を避ける シリーズ～神の知恵～

2019/7/28

人生を導く神の知恵

ティモシー・ケラー

～三滝グリーンチャペル訳～

後 半

<7月1日～12月31日>

God's Wisdom for Navigating Life

Timothy Keller

With Kathy Keller

他者を知る 6/13~8/10

- * 友情 6/13~18
- * 言葉 6/19~7/12
- * ゴシップ 7/13~15
- * 聴くこと 7/16~24 <教えられやすさ>
- * 対立(人間関係) 7/25~8/10
 - * 不和を避ける 7/25~8/1
 - * 愛を育む 8/2~5
 - * 困った時には 8/6~10

優越感を取り除く

友を侮ることは罪。貧しい人を憐れむことは幸い。
(14:21)

- * 私たちは無意識に人と自分を比べている
 - * 「人と比べて人を見下げることで自分を正当化しようとする私たちの自然な欲求を遠ざけない限り、日常的な小さなトラブルで人間関係は壊れてしまうでしょう。」TK
- * 黙想しよう
 - * 私たちは自分の力では決して聖くなれない
 - * 恵みは「罪深くなることを最小限に止めている」TK

自らの動機を調べる

人間の道は自分の目に清く見えるが／主はその精神(動機)を調べられる。」(16:2)

- * 自分の動機を絶対視してはならない
 - * 「(キリストの)弟子は、自分の動機と行動を、神が示された基準に照らして評価すべきで、自分自身の評価を絶対視するべきではない。」ウォルトキー
- * ヨブに対するサタンの非難が教えること
 - * 自分の利益のために神に従っているのではないか
 - * 自分の身を守るためや、何らかの利益(得)を得ようとして関わっていないか

相手の動機を決めつけない

人間の道は自分の目に清く見えるが／主はその精神を調べられる。」(16:2)

* 相手の動機を決めつけてはならない

* 「心の動機を正しく評価することができるのは神のみ...ほかの人の動機を完璧に判断できない」TK

* 批評することと裁くこと

* 過ちを正すことは必要

* 最終的な裁きを下してはならない

* 人の動機を疑うことの罪深さ

* 「妬み、プライド、憤り、欲などが動機ではないか」

相手によって対応を考える

知恵ある人が無知な者と裁きの座で対すると／無知な者は怒り、嘲笑い、静まることがない。(29:9)

* 無知な人は大声を出す

* 自分の意見を一方的に主張するだけで、人と繋がろうとしない

* このタイプの人との関わりは避けられない

* 「[彼らと関わることによる]長く苦痛を伴うプロセスを覚悟しなければならない」TK

* 彼らと同じ仕方に関わらない

* 「彼らを見下さない(7/25)、そして常に敬意をもって接する(5/10)ことです。...無視したり、刃向かわせたりすることなく、丁寧に説得すべきです」TK

でしゃばらない

通行人が自分に関係のない争いに興奮するのは／犬の耳をつかむようなものだ。(26:17)

- * 他人の問題に首を突っ込まない
 - * 犬の耳をつかめば犬に噛まれる
- * 判断を下さず和解を促す
 - * 「知恵ある人は、判断を保留して(すべての事実を知ることはできない)、両者に和解を促します」TK
- * 知恵ある人は遠ざかる
 - * 「知恵ある人は、『関係のない争い』すなわち何の益にもならない口論から遠ざかるべき」TK

冗談に気をつける

友人を欺く者はそれに等しい。しかも「ふざけただけではなにか」と言う。(26:18-19)

* 冗談と残忍さは紙一重

* 「相手が傷ついた後で、『わー、ごめんなさい、そんなつもりで言ったんじゃないんです』と言っても手遅れです」TK

* ユーモアにはTPOがある

* 「ある時、ある場所で、ある状況では受け入れられても、別の状況では傷つけたり、怒りを買ったりします」TK

口論を避ける

罪を愛する者は争いを愛する。戸口を高く開く者は破れを招く。(17:19)

* 口論の原因を見極める

* 「自分の過ちを認めたくない・メンツにこだわって謝れない・ただ衝動を抑えられない」など TK

* 口論は自己防衛の表れ

* 「口論を愛する人を高い城壁を建てる人にたとえています。豪邸に住んでいるように見せかけている[中はよく見えない]」TK

皮肉を楽しむな!

不遜な者を追い出せば、いさかいも去る。争いも嘲笑もやむ。(22:10)

* 皮肉や風刺にひきつけられる

* 皮肉は時に洗練されているように見え、人々をひきつける。時に笑いを誘って悪意を隠す。

* きちんと向き合おう!

* 「謙遜と愛があれば、最も相手のためになるようにきちんと向き合うものです」TK

* 常に人を侮辱する人は「愛による人間関係を育もうとしているコミュニティ」から出て行ってもらう

不和を避ける

- * 優越感を取り除く
- * 動機を調べる(自分・相手)
- * 対応を考える
- * でしゃばらない
- * 冗談に気をつける
- * 口論を避ける
- * 皮肉を楽しむな！

祈り

主よ、私は誰かに会うといつもすぐにあら探しをして—それに気づいただけでも—、優越感に浸ります。これは「相手を自分よりも優れた者と考え(フィリピ²:3)」なさいという、あなたの戒めに反する罪です。私は何とあなたとかけ離れていることでしょう。悔い改めます。あなたの姿に似る者として下さい。アーメン。